

動物園飼育下オオサンショウウオ (*Andrias japonicus*) から得られた アタマビル *Hemiclepsis marginata* (Hirudinida: Glossiphoniidae)

田中 祥菜¹⁾・田口 勇輝²⁾・野田 亜矢子²⁾
野々上 範之²⁾・浅川 満彦^{1)*}

Hemiclepsis marginata (Hirudinida: Glossiphoniidae) obtained from breeding
Japanese giant salamanders (*Andrias japonicus*) in a zoological garden

Sachina TANAKA¹⁾, Yuki TAGUCHI²⁾, Ayako NODA²⁾, Noriyuki NONOUE²⁾ and Mitsuhiko ASAKAWA^{1)*}
(Accepted 9 December 2016)

広島市安佐動物公園 (以下、園) のオオサンショウウオ保護増殖施設で繁殖飼育されているオオサンショウウオ *Andrias japonicus* の健康管理の一環として、寄生虫保有状況の調査を実施している (田中ら, 2016)。飼育状況は田中ら (2016) に記載したように、野外からの導入は太田川水系の個体に限定され、この保護個体と繁殖個体とは別水槽で飼育されている。2015年6月および翌年11月、園で飼育されていた2体の腹部体表面から、それぞれヒル類1虫体が採集された。翌年の事例が認められた宿主個体では、その総排泄孔側方に生じた新鮮な皮膚創傷部にヒル類付着が認められた (図1上)。検出された虫体は70%エタノール液で固定・保存後、ヒル類はラクトフェノール液により透徹された。

今回検出されたヒル類の体は扁平で体長は9.3 mmから9.9 mm, 最大体幅は3.5 mmから4.7 mmあった。先端が細くなっており頭部、後吸盤を除いて外形上顕著な区分が認められなかった。体色は赤味を帯びた茶褐色を呈し、淡黄色の斑点が縦走した。また、濃い褐色を呈した胃側盲嚢が明瞭に認められた。頭部は幅広く、第3および第4体環に眼が2対あり、前方の眼はやや小さかった。後吸盤の長さは1.3 mmから1.9 mm, 幅は1.2 mmから1.8 mmで、幅は最大体幅より狭く、その上には様々な大きさの淡黄色斑点が認められた (以上, 図1下)。

これら形態と測定値からアタマビル *Hemiclepsis marginata* (Hirudinida: Glossiphoniidae) と目された。本種は多様な淡水魚のほか、両生類に外部寄生するヒル類で、日本では普通種と見なされている

(Nagasawa and Miyakawa, 2006)。このようなヒル類による吸血では、貧血と吸血部位の細菌・真菌などへの暴露に加え、*Trypanosoma* 属原虫侵入も指摘されている (宮田, 1976)。今回、飼育環境下のオオサンショウウオでもその寄生が初めて確認されたので、このヒル類の動物園水族館などの展示動物における詳細な侵淫状況の把握が必要であろう。なお、前述のように2016年に採集された虫体は新鮮な皮膚創傷部に付着が認められたが (図1上)、これは、おそらく、ヒル類寄生によるに病変ではなく、病変に二次的に付着したものと見られた (野田, 未発表)。

本研究は文科省科研費基盤研究C (26460513) 「動物園水族館動物に密かに蔓延する多様な寄生虫病の現状把握とその保全医学的対応」および同省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 (酪農学園大学大学院2013年~2017年) の一環でなされた。

引用文献

- 宮田 彬. 1976. 長崎市郊外で発見された無尾類の住血原虫-1. *Trypanosoma rotatorium* (Mayer, 1843). 熱帯医学, 18: 125-134.
- Nagasawa, K. and Miyakawa, M. 2006. Infection of Japanese eel *Anguilla japonica* Elvers by *Hemiclepsis marginata* (Hirudinida: Glossiphoniidae). J. Grad. Sch. Biosp. Sci., Hiroshima Univ., 45: 15~19.
- 田中祥菜, 田口勇輝, 野田亜矢子, 野々上範之, 浅川満彦. 2016. 動物園飼育下オオサンショウウオ (*Andrias japonicus*) における寄生虫学的調

¹⁾ 酪農学園大学獣医学群獣医学類感染・病理学分野 〒069-8501 北海道江別市文教台緑町 582
Division of Pathobiology, Department of Veterinary Medicine, School of Veterinary Medicine, Rakuno Gakuen University, Hokkaido 069-8501, Japan

²⁾ 広島市安佐動物公園 〒731-3355 広島県広島市安佐北区安佐町大字動物園
Hiroshima City Asa Zoological Park, Hiroshima 731-3355, Japan

*連絡先 askam@rakuno.ac.jp



図1 オオサンショウウオ体表より採集されたアタマビル *Hemiclepsis marginata*
 上：寄生状態(2016年11月、総排泄孔側方に生じた創傷部に二次的に寄生)、下：
 固定標本全体像 (Bar=2 mm)

査. 野生動物医誌, 21(4): 137-140.

要 旨

広島市安佐動物公園で飼育下繁殖をしているオオサンショウウオ (*Andrias japonicus*) 2個体からアタマビル *Hemiclepsis marginata* が検出された。こ

れまで、オオサンショウウオからこのヒル類が記録された報告は見あたらない。アタマビルによる飼育オオサンショウウオの健康上の問題点などを簡単に論考した。

キーワード：オオサンショウウオ、ヒル類、動物園

ABSTRACT

A parasitological survey of breeding Japanese giant salamanders (*Andrias japonicus*) kept in Hiroshima City Asa Zoological Park, Japan, was performed. We detected a leech, *Hemiclepsis marginata*. This is the first record of the leech in the Japanese giant salamander. A brief discussion of the health problems of captive salamanders caused by the leech is included.

KEY WORDS: *Andrias japonicus*, leech, zoo